

工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

発行/(社)鹿児島県工業倶楽部 企画・編集/広報・デザイン開発委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 県産業会館内
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 http://www.ikic.or.jp E-mail:info@ikic.or.jp

2009

会報: No.42

2

平成20年度 新年大会

日時: 平成21年1月23日(金) 15:30~

場所: 城山観光ホテル サファイアホール飛鳥

平成20年度(社)鹿児島県工業倶楽部新年大会が、1月23日(金)午後3時30分から城山観光ホテルで、昨今の景気を思わせるような寒空ながら多数の来賓に参列いただいて盛大に開催されました。

川崎暢義会長は、100年に1度とも言われる厳しい経済情勢で、従来の経済システムが立ち行かなくなるこの時期なればこそ工業倶楽部は倶楽部設立の理念に立ち返るべきであるとし、会員に今こそ工業倶楽部の出番ですよ!と呼びかけました。

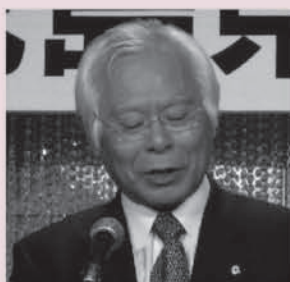
また、来賓を代表して挨拶いただいた鹿児島大学の吉田浩己学長は、工業倶楽部との連携に触れ、相互資質の向上に役立つとしたうえで連携強化は地域社会の発展にも寄与していくものであるとして連携の意義を強調されました。



講師 古賀光雄氏



鹿児島県工業倶楽部
川崎会長



鹿児島大学 吉田学長

講演は、トーマツ・ベンチャーサポート(株)代表取締役の古賀光雄氏を講師にお迎えし「経営の変革とニュービジネス」~成功企業に学ぶ新しい発想~と題して行われました。

CONTENTS

特集: 新年大会	1・2	(社)鹿児島県工業倶楽部 活動状況	4
(財)かごしま産業支援センターからのお知らせ	2	事務局からのお知らせ	4
平成版IT湯治・会員情報	3	新会員情報	4

平成20年度 社団法人鹿児島県工業倶楽部「新年大会」

「経営の変革とニュービジネス」
成功企業に学ぶ新しい発想
講師 古賀 光

最初に平成20年4月4日発表の「農商工連携88選事例一覧」により、ニュービジネスのヒントになる実例等を概観してから本題に入りました。

講演の要旨は以下のとおりです。

まず、企業経営を取り巻く環境の変化のなかで、ネットビジネスの拡大を強調し、現在ではインターネットで注文先を探すのが常態化しており、ホームページの活用等が重要となる。環境変化への対応として、新しい世代の消費者に対しては、新しい発想と新しい技術開発で対応しこれで生き残るしかないこと。

次に、地域経済活性化にはニュービジネス育成が重要であり、産学官で地域の産業育成に対する共通戦略が必要となる。大学の技術力の一般公開が必要であり、大学の知的財産権が新規産業の核になりうること。ベンチャービジネス創業のポイントは、市場ニーズを把握して、自分が作れるから作るのではなく売れるものを作るべきで、もの作りにのめり込むようではまずいと。魅力ある中小企業・ベンチャー企業とは、業績、商品、技術力と社長の資質であり、従業員も金融機関も社長の資質を見極めようとする。社長は大きな目標を持つべきで、従業員は経営者の夢の大きさを超えられないものであるとも。また、メインバンクを作ること、在庫、不動産等の無駄を省くべきだがキャッシュフローだけは残すべきで、2年間生き残れば勝ち組に成れるとも。成長する企業とは、組織的かつ計画的な企業運営がなされ、内部統制制度（計数管理を含む）が確立している企業である。特に計数

管理は重要で経常利益率等が頭のない社長（の企業）はだめになると。

上場企業に学ぶビジネスモデル事例のなかで、売り上げを伸ばすためには商品別、得意先別、担当者別、地域毎、業界毎の5つの売り上げ管理をすべきである旨を強調されるなど、詳細なレジュメ、豊富なデータで具体的かつ実態に即した語り口で講演頂き、従来のビジネスモデルの限界が見えるなど展望困難な今日の経済情勢のなかでの経営のあり方についての確なご教示を頂きました。

古賀講師は公認会計士でもあり、二水会での辛口講評で知られていますが、このような厳しい経済情勢の中でいかに生き残るかについて、講演を直接聞いた会員には大いに役立ったと思われま

す。講演終了後、そのまま交流パーティに移行し、岡積副知事も加わって和やかな雰囲気の中産学官、異業種間の有意義な交流が行われました。



（財）かごしま産業支援センターからのお知らせ

事業経営者の 悩みを専門家派遣 事業で解決します



（財）かごしま産業支援センターでは、中小企業が抱える経営・情報化・販売・マーケティング等のさまざまな問題を解決するために、各分野の専門家を派遣し、きめ細やかな助言や指導を行う「専門家派遣事業」を行なっています。

経営の向上を目指す中小企業の方々には、ぜひご相談ください。

【派遣回数】 1社あたり10回程度

【費用】 派遣に要した費用（専門家に対する謝金・旅費）の3分の2はセンターが負担します。

※なお、別途3回までは無料の制度もあります。

問い合わせ先 財団法人かごしま産業支援センター ☎099(219)1273

平成版IT湯治



(株)指宿ロイヤルホテル 代表取締役会長 有村 佳子

平成20年7月、私たち鹿児島県健康保養地活性化協議会による『平成版IT湯治』の提案書は内閣府の『地方の元気再生事業』に採択された。九州・沖縄の代表的な提案として評価されている。この前年平成19年10月、内閣府からの要請で総理官邸に招聘され、増田総務大臣・町村官房長官初め10名の大臣による諮問に応じた。招聘されたのは6名で3名は行政の長、市長・町長・村長で、民間からは3名。九州からは私が一人だった。

諮問の内容は、地域活性化の具体的行動と実績であった。

私は、平成14年鹿児島県工業倶楽部で発足し、16年実証モニタリングまで行なった『スパドゥ』。鹿児島に有る独特の食材・豊富に有る温泉・必要な運動を融合させた健康増進研究と実証により、観光産業に健康増進を取り入れた新産業創出の話をした。

2011年新幹線全線開通に向けて、目的の有る観光・滞在型観光で地域の経済を活性化させる『スパドゥ』構想は、並み居る諸大臣から高い評価を頂き、内閣府から平成20年度から発足する『地方の元気再生事業』に提案しては、との助言を得た。

平成17年『スパドゥ』の研究会は終了したが、将来産業化の為に研究会でのモニタリングの際、医療的検査に費やした一人40万円を克服するの必要を感じていた。

そこで、研究会解散後鹿児島県工業倶楽部と有志6名がさらなる討議を重ね、ビジネスモデル特許として出願した。その後測上マイクロ社（現在のモレックス喜入社）上田社長のご好意を得て、平成19年審査請求を行った。

しかし、このビジネスモデル特許は言わば絵に描いた餅、楽しく

旅をしながら自分の健康状態がリアルタイムでわかる。しかも一人5千円から一万円位の料金。この構想に関わる移動型身体計測器と無線によるデータ集積とフィードバックの技術開発には莫大な費用が想定された。

内閣府からの説明では、年間予算25億円。全国から120件の採択なので、1件最高5千万円とのこと。しかもさらなる提案が採択されれば3年間は調査費が支給される。

平成20年4月、提案書の説明会が行われ、産官学の協議会を立ち上げる事になった。測上マイクロ社の協力で鹿児島大学産学官連携機構と無線技術は九州産業大学情報工学部の協力が得られ、鹿児島県・指宿市。産は医学研究財団メディポリス指宿、移動型身体計測器のメーカーパラマテック社も加わり、絵に描いた餅が食べられる提案書が出来上がり、5月13日提出した。

4月初めの説明会から協議会設立と提案書完成までたった1ヶ月。まさに神様による出会いのようであった。

～健康な私を見つけ、もっと元気になる旅～『IT湯治』の実証実験は21年2月まで、1泊型・2泊型・3泊型と3回行う。21年度にはさらに軽量小型で温泉や砂むしにも身体に装着したまま計測出来る機器の開発を目指している。

指宿温泉9軒のホテル旅館は『スパドゥ』を取り入れ、低カロリーなヘルシー食・ウォーキング・温泉を組み合わせた滞在型宿泊プラン『指宿スパヘルス』を商品化した。2011年新幹線前線開業の好機に、さらにIT湯治を加えた健康保養滞在型観光を鹿児島から全国に向けて販売する計画である。

会 | 員 | 情 | 報

株式会社モレックス喜入

株式会社測上マイクロは、昭和50年4月に、測上印刷株式会社にてセラミックICパッケージ用ポジフィルムの製造を開始し、昭和54年12月の創業以来、地域の皆様、お客様に育てていただきました。このたび株式会社測上マイクロは、日本モレックス株式会社と提携関係となり、株式会社測上マイクロで培ってまいりました事業を、新しく設立した株式会社モレックス喜入へ昨年12月10日に譲渡致しました。

新会社設立の目的は、日本モレックス株式会社の持つグローバルネットワーク力、マイクロコネクタ事業での先端的技術力と高度な管理技術を私どもの有するマイクロフォトリソグラフィを活用した精密加工技術に融合させることで次世代製品を開発し、商品化して市場に投入することにあります。

また、私どもが事業展開してきた高精度フォトマスク、スクリーン製版、エッチング製品、複合材加工、省力化装置につきましても、新製品の開発に必要な要素技術を高め、競争力のある商品開発につなげるために、更なる高度化を目指し、拡販して参ります。

日本モレックス株式会社グループの一員となり、新たなスタートラインに立ちましたが、これまでと同様、産学官連携で地域の活性化に貢献出来る様、今まで以上に社員一同全力を挙げて社業に努めてまいります。

(会社概要)

商号:株式会社モレックス喜入

本社所在地:鹿児島県鹿児島市喜入一倉町11620番地45

資本金:45,000千円

株主:日本モレックス株式会社(所有割合100%)

役員構成:代表取締役社長 上田 享

取締役 大沢 健治

取締役 和田 幸雄

取締役 廣川 克巳(日本モレックス㈱代表取締役社長)

取締役 渡邊 総一(同、製造本部長)

取締役 鈴木 裕一(同、研究開発本部長)

取締役 千葉 新介(同、財務本部長兼企画管理本部長)

久永情報マネジメント(株)

鹿児島リコー株式会社は、平成21年2月1日より、ドキュメントイメーシング(DI)事業部門とOA事業部門を分離し、DI事業部門は「久永情報マネジメント株式会社」と社名変更をいたしました。OA事業部門はリコー九州株式会社 鹿児島支社としてスタートする事となりました。

久永情報マネジメント(株)は、鹿児島リコー(株)(昭和39年創業)の45年の歴史と実績を礎にお客様の情報管理のパートナーとしてより一層お役に立てるようお客様と共に成長していける企業でありたいと考えます。

オフィスのネットワーク化/電子化の進展による情報のセキュリティ、共有化の課題解決。官公庁の情報公開に伴う行政文書管理、公文書保存管理体制の課題など、文書情報管理の様々な課題解決。また、

地理情報システム(GIS)など、情報管理システムの構築とサポート事業の充実強化によりソリューションパートナー企業を目指して参ります。お客様の情報資産が組織活動の中で「活かされる」…共有化・分析活用・伝達配布(ネットワーク)「守られる」…原本性・保存期限・漏洩防止(セキュリティ)最適な形(カタチ)を実現し、現状の情報資産を付加価値の高い情報資産としてお届けしたいと考えております。

また、株式会社リコーならびにリコー九州株式会社とビジネスパートナーとして協業を進め、鹿児島県のみならず県外への事業拡大を目指します。

「TRY NEXT」これからも久永情報マネジメント(株)は、「お客様役立ち」のために新たな挑戦を継続して参ります。今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(社)鹿児島県工業倶楽部 活動状況

委員会

総務企画委員会	12月2日(火) 15:00～ ソフトプラザかごしま 1階会議室 ①新年大会について ②産学官連携成果発表会について ③屋久島登山環境研究会の助成金申請について ④人材確保推進事業に係る一時借入れについて ⑤公益法人の取り扱いについて ⑥その他 ・静岡県との交流について ・会員の取り扱いについて (パンフレット等作成に当たって)
産学官連携委員会	1月31日(土) 13:30～ 鹿児島大学「稲盛会館」 産学官連携成果発表会 ～かごつま発!顔の見えるネットワークづくり～
異業種交流委員会	12月17日(水) 16:00～ ソフトプラザかごしま 1階会議室 ①今後の出前交流会の発展について ②静岡県産業界との交流について
広報・デザイン開発委員会	2月3日(火) 14:00～ ソフトプラザかごしま 1階会議室 ①静岡県経済界との交流について ②平成21年度の事業について ・農工商連携について ・ものづくりフェスタについて ③その他 ・会員増強対策について
人材育成委員会	12月19日(金) 16:00～ ソフトプラザかごしま 1階会議室 ①会報誌「新年号」について ・内容 新年大会等 12月25日(木) 17:00～ 県産業会館 中2階会議室 ①3点についての報告 ・鹿大学生支援専門委員会との連携 ・放送大学の活用 ・人材育成に係る情報の周知
福祉ビジネス研究部会	12月9日(火) 18:00～ 「がんこ庵」自治会館店 さつまプラザ・プラザさくらじまとの合同例会を兼ねた忘年会 ①3分間スピーチ 今年一年のふり返り 1月15日(木) 17:30～ 県市町村自治会館 5階502号 さつまプラザ・プラザさくらじまとの合同例会 ①講演 演題 「IT活用による経営革新のすすめ」 講師 中村和恵氏 株式会社システム研究所 代表取締役 ②情報交換

部会

ブラザ

八日会	12月18日(木) 19:00～ 敬天閣 ①情報交換
84ブラザ	12月9日(火) 16:00～ 宮城商店 ①会員の近況報告 ②事務局からの連絡事項 12月9日(火) 18:00～ 「がんこ庵」自治会館店 合同例会を兼ねた忘年会 ①3分間スピーチ 今年一年のふり返り 1月15日(木) 17:30～ 県市町村自治会館 5階502号 ①講演 演題 「IT活用による経営革新のすすめ」 講師 中村和恵氏 株式会社システム研究所 代表取締役 ②情報交換
さつまプラザ・プラザさくらじま・福祉ビジネス研究部会合同	12月12日(金) 18:30～ ソーホーかごしま 6階会議室A ①講演 演題 「鹿児島発の地球観測衛星」 講師 西男正則氏 鹿児島大学理学部 教授 1月16日(金) 16:00～ 県民交流センター 陶芸制作室東棟5階 ①新年陶芸教室 手びねりでの制作
ブラザいもづる	12月10日(水) 16:00～ 南さつま商工会議所 2階会議室 南さつま商工会議所青年部「第4回経営資源研修会」への参加 ①具体的な課題への取組みについて 12月16日(火) 16:00～ 味の三筋 ①会員の近況報告 ②工業倶楽部事務局からの連絡事項 12月18日(木) 17:00～ 鶴の町商工会館 野田支所 ①講演演題 「IT活用による経営革新のすすめ」 講師 中村和恵氏 株式会社システム研究所 代表取締役 1月29日(木) 15:00～ 鹿児島大学産学官連携推進機構 ディスカッションルーム(2階) 議題 1. 平成20年度の実施事項について ①産学交流企画実施委員会(愛甲委員長から審議内容の報告) ②留学生の支援事業等(中山委員長から審議内容の報告) ③産学官連携成果発表会(研究協力課説明) 2. 平成21年度実施計画について ①産学交流企画実施委員会(愛甲委員長から) ②留学生の支援事業等(中山委員長から)
地区ブラザ	南薩地区ブラザ 川薩地区ブラザ 出水地区ブラザ
鹿児島大学関係	第5回産学交流促進会議

事務局からのお知らせ

理事会の開催

12月11日(木)第4回理事会が開催されました。
理事会では、新年大会の開催、産学官連携成果発表会の開催、屋久島登山環境研究会

の助成金申請、会員の取り扱い等が議題となったほか、公益法人法改正への対応や静岡県との交流等について確認がなされました。

産学交流促進会議の開催

1月29日(木)第5回産学交流促進会議が開催されました。
平成20年度の実施事項について確認が行われた後、平成21年度の実施計画に

ついて検討が行われました。
大学側から吉田学長、愛甲、中山、面高3理事と事務局、当方から川崎会長と3副会長が出席しました。

産学官連携成果発表会の開催

1月31日(土)鹿大稲盛会館で「～かごつま発!顔の見えるネットワークづくり～」産学官連携成果発表会が鹿児島大学と共催で開催されました。

経済産業省製造産業局長後藤芳一氏の講演のあと、日本有機(株)、(株)米電社、坂元醸造(株)、日本澱粉工業(株)、(株)モレックス喜入から成果に係る事例発表が行われました。

しよっんしおけ

ワールドカップで倶楽部も活躍!?

昨年12月行われたFIFAクラブワールドカップ(トヨタカップ)はロナルドの活躍などで英国のマンチェスターユナイテッドが優勝しました。日本のガンバ大阪も3位と大健闘でした。

ところで、我が倶楽部も活躍したのをご存知? 工業倶楽部会員の(株)仙夢が参加したのです! 12月20日に行われたしよっんしおけの正式晩餐会で各選手たちの真ん前に立ちほだかってその勇士を披露しました。

実は、メニュー立てを製造したのです。屏風型のたて22センチのもので内側にメニューを挟むようになっているのですが、ポイントは外側がミニチュア量になっているところ。本物の爽やかな青畳(目も小さい)で、縁(へり)も付いています。

なんと晴れやかな快挙!トヨタカップのロゴが鮮やかにプリントされたミニ畳、あると思います!

新 会 員 情 報



● 会員名 (有)えこふあーむ
● 代表取締役 中村 義幸
● 住 所 〒893-1207 鹿児島県肝属郡肝付町後田3098-2

● ☎ (0994-31-5758)
● F A X 0994-65-2781
● 業種等 畜産業・農業、生産・販売

ソーシャルビジネス的な観点で、黒豚を放牧して耕作放棄地・休耕地・荒廃山林の修復・再生に取り組んでおります。飼料は食品循環資源を乳酸発酵させたエコフィードです。今後は体験・参加型プログラムを構築して、都市と農村、消費者と生産者との交流を通じた地域活性化にも取り組みたいです。宜しく願い申し上げます。